

2022年度 特定行為研修シンポジウム プログラム  
—院内から地域へ特定行為研修修了者の活躍を考える—

目 的

- 1) 特定行為研修制度の普及・理解促進のために必要な情報や知識を得る。
- 2) 看護師の特定行為研修修了者の活躍の実際から課題を明らかにし、今後に活かす。

日 程： ①2023年2月15日（水）14：30～16：30 （ライブ配信）  
②2023年2月24日（金）～ 3月10日（金）（オンデマンド配信）

場 所： TKP 品川カンファレンスセンター

対象者： 医療従事者

参加者数：800名（先着順 定員にて締め切り）  
※一般500名、指定研修機関連絡会会員300機関

参加費： 無料

【プログラム】

- 14：30～14：35 [開会の挨拶]  
看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会 会長 永井 良三  
公益社団法人日本看護協会 会長 福井 トシ子
- 14：35～14：55 [情報提供] 特定行為研修制度の現状と今後の方向性  
情報提供者：厚生労働省 医政局 看護課 看護サービス推進室  
後藤 友美
- 14：55～15：55 [シンポジウム]  
座長：社会医療法人財団董仙会理事長 神野 正博  
公益社団法人日本看護協会常任理事 木澤 晃代
- 「特定行為研修修了者と共に地域を支える在宅診療の実際（仮）」  
いとうまもる診療所 院長 伊藤 守  
「特定行為を活用し地域活動の実際と課題（仮）」  
いとうまもる診療所 つながる訪問看護ステーション 所長  
皮膚・排泄ケア特定認定看護師 加藤 裕子
- 「専門性が発揮できる特定行為研修修了者の  
活躍への支援（仮）」  
藤枝市立総合病院 副院長兼看護部長 達家 好美  
「研修の学びをいかしたチーム活動の実際と課題  
（仮）」  
藤枝市立総合病院 クリティカルケア特定認定看護師 藤田 智和
- 15：55～16：25 意見交換
- 16：30 閉会